

# 平成30年 新年賀詞交歓会開催報告



平成30年1月24日（水）12時30分から、霞が関ビル35階東海大学校友会館「阿蘇の間」において、国会議員、国土交通省、友好団体等から多数の来賓の方々をお迎えして、新年賀詞交歓会を開催いたしました。

冒頭、熊倉隆治会長から挨拶が行われ、引き続き、牧野たかお氏（国土交通副大臣）、石原伸晃氏（不動産鑑定士制度推進議員連盟会長）、保岡興治氏（同議連前会長）からご祝辞をいただいた後、関根愛子氏（日本公認会計士協会会長）の音頭により乾杯が行われました。

また、乾杯の後、ご出席の国会議員からご挨拶をいただき、なごやかな歓談のうち、盛会裡に賀詞交歓会を終えることができました。

熊倉会長は、挨拶の中で「平成30年度予算案において、地価公示地点を前年に引き続き2万6,000地点確保することを盛り込んでいただいたことについて、不動産鑑定士制度推進議員連盟の議員をはじめ、関係省庁の皆さまに御礼申し上げたい。我々としては、不動産市場の制度インフラである地価公示にしっかり取り組み、社会の期待に応えていきたい。」  
「不動産鑑定業界としては、引き続き、不動産鑑定評価制度の認知度向上と不動産鑑定業の拡大に努め、不動産鑑定評価制度の発展に努めていきたい。」

「不動産鑑定評価業務のグローバル化やストック経済の進展といった経済情勢の変化の中で、国等に対し業界として、利用者の多様なニーズに的確に応えられる不動産鑑定評価制度の充実が必要との提言を行ってきた。昨年、国土交通省



挨拶を述べる熊倉会長



来賓祝辞を述べる牧野たかお国土交通副大臣

の不動産鑑定評価制度懇談会でそれらの対応に向けた検討が行われ、不動産鑑定法改正については、今後の課題としつつも、農地評価をはじめとする多様なニーズの取り組みへの支援、ユーザー目線の体制構築に向けた指導協力、人材育成について、国と本会が協力して取り組んでいく必要があるとの提言がなされた。我々としては、今年、その具体化への取り組みを通じ、業務拡充等に踏み出す年にしたい。」

「今回の通常国会では所有者不明土地に係る新法の制定、そして相続に係る民法改正が予定されているが、これらの制度で、不動産鑑定士は、所有者不明土地の利用料に係る評価や配偶者居住権に係る評価への関与が期待されている。これら制度の施行を見据え準備を進めたい。」「本会は、公益活動として実施するASEAN諸国への土地評価制度の整備に向けた協力や自然災害発生時の復興支援体制の構築を通じ、不動産鑑定士の社会的認知度を高めていきたい。」等と述べました。



来賓祝辞を述べる石原伸晃  
不動産鑑定士制度推進議員連盟会長



来賓祝辞を述べる保岡興治  
不動産鑑定士制度推進議員連盟 前会長



乾杯の音頭を取る  
関根愛子 日本公認会計士協会会長



中締め挨拶を行う今西副会長

## ご来場いただいた国会議員の方々（順不同）



井上 義行 参議院議員



三宅 伸吾 参議院議員



豊田 俊郎 参議院議員



片山 さつき 参議院議員

このほか、山下貴司法務大臣政務官兼内閣府大臣政務官、堀井巖外務大臣政務官、小林鷹之衆議院議員、盛山正仁衆議院議員、細野豪志衆議院議員、左藤 章衆議院議員、中西健治参議院議員にもご来場いただきました。